

資料6 環境関係表彰受賞者

1 平成29年度環境保全功労者等の表彰(環境大臣表彰 平成29年6月)

(1)受賞者

＜地域環境保全功労者＞

笛吹市立御坂東小学校(笛吹市)

山梨県立日川高等学校

(2)功績概要

・笛吹市立御坂東小学校

金川の水生生物・魚・水質・周辺の状態を調査・研究した後、ゴミ問題・下水道の学習に発展させた環境学習を実施するとともに、環境美化活動の推進に全校で取り組んでいる。

・山梨県立日川高等学校

日川高等学校周辺地域における水道水源水質および重川等の硝酸性窒素濃度から見た河川環境の長期調査

2 山梨県環境保全功績者表彰(知事表彰 平成29年6月)

(1)受賞者 団体:ニスカ株式会社(富士川町)

団体:東桂地域協働のまちづくり推進会(都留市)

団体:三吉地域協働のまちづくり推進会(都留市)

団体:峡南義務教育振興会議(富士川町)

団体:丹波山村立丹波小学校(丹波山村)

団体:笛吹市立石和中学校(笛吹市)

(2)受賞理由 多年にわたり、地域の環境保全活動に尽力するとともに環境保全思想の普及・啓発に努め、地域の模範となっている。

3 平成29年度「水資源功績者表彰」(国土交通大臣表彰 平成29年8月)

(1)受賞者

特定非営利活動法人 甲斐駒清流懇話会

(2)功績概要

同団体は、平成11年に国土交通省の支援で白州・武川の住民と学識経験者・企業・行政が一緒になって、自然災害に対する防災意識の啓蒙と溪流環境を学び親しむ活動を行うことを目的に設立された。

会の設立以来、(1)昭和34年と昭和57年に発生した土石流災害の被災状況・経験等を伝承するための事業、(2)溪流環境を学ぶための事業、(3)地域の発展を支援するための事業、(4)地域の安全を考えるための事業の4つを柱とする活動を展開してきた。

平成21年には、「災害復興50周年記念誌～川・語り継ぐ記憶～」を発行し、水害の恐ろしさを学ぶための資料として広く活用されている。これらの活動により、地域の水防意識を高めるとともに、溪流環境の保全、川の恩恵の普及啓発を図り、釜無川上流白州・武川の地域活性化に大きく貢献してきた。

また、これらの活動の功績が認められ、善行表彰(北杜市)、環境保全功績者表彰(山梨県)、日本水大賞(日本水大賞委員会・国土交通省)などを受賞している。

4 平成29年度「ふれあいの森林づくり」(国土緑化推進機構会長賞 平成29年9月)

(1) 受賞者

山梨市

(2) 功績概要

山梨市が水口地域に保有する約65ヘクタールの市有林は、松くい虫の被害などが進み、森林整備が必要であった。

そこで、同市は企業の社会的責任(CSR)の一環として森づくり活動への関心が高まる中、平成18年に山梨県が進める企業の森推進事業の第一号としてライオン株式会社と「ライオン山梨の森」森林整備協定を締結した。

以来10年以上にわたり、森林整備の支援を受け、育林をすすめるとともに、社員による間伐、広葉樹の植林、下刈りなど森林整備体験を通じて地域の住民や小学校の児童と積極的に交流を図ってきた。

また、市有林の間伐材でライオングループの社内看板やイベントでの展示物、さらに定年退職者の記念品を作成するなど、地域産材の活用を通じて都市と農山村との交流促進に貢献している。

5 平成29年度緑化功労者(林野庁長官賞 平成30年3月)

(1) 受賞者

清水 正盛

(2) 功績概要

氏は42年の長きにわたり、造林事業、保安林整備事業に従事し、現在も優良な造林地の造成に取り組んでいる。

長年の経験により培った高い造林・育林技術を生かし、地質・気象条件が悪い場所に、優良造林地を造成するなど、森林の持つ公益的機能を十分に発揮できる森林の整備に努めた。

また、氏は、個人事業主の法人組織化を進めるため、県内各地で説明会を開き、法人化を呼びかけた。その結果、平成12年度には山梨県県有林造林推進協議会の全会員である58事業体が、平成13年年度には山梨県林業公社造林推進協議会の全会員である48事業体が会社及び企業組合への法人組織化を達成した。

6 平成29年度全国学校関係緑化コンクール

(学校林等活動の部国土緑化推進機構理事長賞 平成30年3月)

(1) 受賞者

上野原市立島田小学校

(2) 功績概要

同校は、児童が地域の森林・林業・自然に積極的に触れ、理解することを目的に学校林活動を行っている。

学校林を自然体験や冒険体験を目的とした「あそびの森」、動植物の観察を目的とした「学びの森」、ベンチを設置するなど癒しを目的とした「いやしの森」に分け、地域の財産区民、森林組合、PTA、大学、団体など多くの人々の協力を得て整備を行っている。

学校林での活動は、児童の地域の自然に対する愛着の気持ちを育み、自然を大切にしようとする行動力を育てるとともに、様々な年齢層の人々との交流は地域の結びつきを強め、地域の活力を高めることに貢献している。

7 第30回森林レクリエーション地域美化活動コンクール

(一般社団法人全国森林レクリエーション協会会長賞 平成30年4月)

(1) 受賞者

NPO法人 甘利山倶楽部

(2) 功績概要

同団体は、甘利山の豊かな自然環境を次の世代に引き継ぐことを目的に、自然保護活動を実施している。

亜高山植物の保護活動として笹刈りや開花調査、植生調査、シカ防除策の設置、ゴミ拾いなどを行っており、その結果、亜高山植物の復元に成果を上げている。植生調査やシカによる食害調査においては、より精度を高めるため、山梨県森林総合研究所の研究者と共同で実施している。

また、子ども達の学校行事や地域住民の行事に、甘利山の清掃活動や自然保護等の活動を組み入れてもらうことで、幅広い年代の参加者に甘利山の美しい自然を保護する意識を醸成している。

地域の住民の先頭に立ち、甘利山の豊かな自然を守る気運を高めるとともに、地域の象徴であるレンゲツツジや亜高山植物の植生回復の方法を研究し実践するなど、同団体の活動は模範となっている。

(受賞者の氏名は敬称略で記載しています)